

PHONIC

P5A/6A/8A PROFESSIONAL STUDIO MONITOR



P8A

取扱説明書

P5A/6A/8A

PROFESSIONAL STUDIO MONITOR

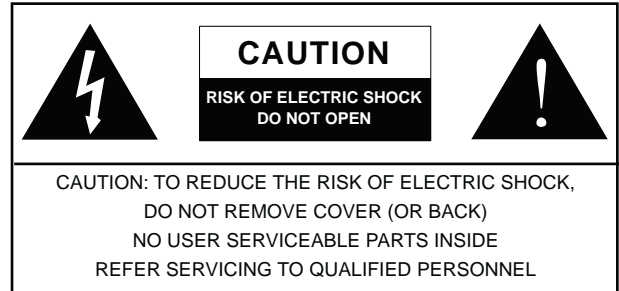
CONTENTS

はじめに	3
ドライバー	3
クロスオーバー	3
アンプ	3
基本性能	4
接続	4
入力感度の設定	4
トーンコントロールの設定	4
LOW MATCH	5
ROOM COMPENSATION	5
HIGH MATCH	5
POWER MODE	5
INPUT CONNECTORS	5
モニターの設置方法	6
縦・横のマウント	6
卓上マウント	6
オーバーロード・インジケータ	6
仕様	7

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

使用上のご注意

- 1.当製品を使用する前に、取扱説明書を必ず読んで下さい。
- 2.取扱説明書の指示に従ってご使用下さい。
- 3.アンプやパワーミキサーを使用する際、オーディオの機器の設定
起動・停止の手順を正しく行って下さい。これらの機器を使用する
際は、使用するパワーアンプまたはパワーミキサーの電源は最後
に入れて下さい。また、パワーアンプまたはパワーミキサーのレ
ベルコントロールが最小の値に設定されていることを確認してから
電源を入れてください。電源を切る際は、逆の手順で行います。
(最初にパワーアンプまたはパワーミキサーの電源を切ります)
- 4.モニタースピーカーは極めて高い音圧レベルを出します。聴覚に永
久的な損傷を与える恐れがありますので、機器の位置や操作方法を
十分に理解した上でご使用下さい。
- 5.製品に不具合を感じた場合は、自分で修理をせずご購入頂いた販売
店にご相談下さい。

はじめに

バイアンプ仕様のP5A・6A・8Aは高出力で広いレンジの再現を目標に開発された2WAYのアクティブモニタースピーカーです。P5Aが5インチ、P6Aが6 1/4インチ、P8Aが8 3/4インチ仕様となっております。数字が大きいほどパワーがあり、ウーファーも大きい為、低域から高域まで広く、また高出力に再生します。

コンパクトなサイズとデザイン、優れた音の分離性と位相。このスピーカーシステムはニアフィールドモニターとして、放送用やモニター管理ルーム、ホームスタジオでの使用にも最適です。

本製品はアクティブスピーカー仕様で、ドライバーとパワーアンプ、アクティブクロスオーバーフィルターと保護回路が入っています。指向性制御システムが厳しい環境でも優れた周波数バランスを実現します。

SOFT DOME と SOUND GUIDING HORN

サウンドをより良い指向性でリスニングするために開発されたホーンです。
なめらかな表面と広い角度によって、ツイーターから出たサウンドをストレス無く聞き手まで届けます。

ドライバー

低域の周波数帯は5"、6 1/4"、8 3/4"ウーファーで再生されます。P5AとP6A、P8Aは20KHzまで25mmのピュアピストン動作で駆動するSOFT DOMEツイーターを使用しています。
指向性制御システムで音の分散をコントロールし、クロスオーバーの周波数を完璧な位相で再生します。

Pシリーズのアクティブバージョン・ドライバーは、磁気遮蔽仕様です。PCや他の電気機器の傍でも使用可能です。

クロスオーバー

アクティブクロスオーバーネットワークは2つのパラレルバンドパスフィルターに構成されています。
クロスオーバー周波数は1.8KHzに設定されています。

アクティブ・クロスオーバーのコントロール (Low Match、Room Compensation、High Match) によって、このスピーカーはどのような環境にも、マッチングします。

アンプ

振動のない駆動と、長い信頼性を保証するために、アンプはスピーカーの裏面パネルに制振構造で設置されています。

ドライブオーバーロード保護とアンプ熱保護の保護回路も入っています。

基本性能

P5A 5" 2-way active studio monitor

P6A 6 1/4" 2-way active studio monitor

P8A 8 3/4" 2-way active studio monitor

- ユニークな直線位相と周波数反応
- SOFT DOMEスピーカー & SOUND GUIDING HORNスピーカー
- バイアンプ仕様
- アクティブクロスオーバー/4th order Linkwitz-Rileyフィルタ
- オーバーロード保護インジケーター
- 無音駆動回路
- 熱保護
- 高周波数帯と低周波数帯の出力リミッター
- +2、0、-2、-4dBが選択可能な、HF (ツイーター)の出力を補うHigh Matchコントロール
- ハイパスフィルター
- 木製のハイグレードMDFエンクロージャー
- キャビネットの反響を最小限にする内部構造
- 磁気遮蔽仕様
- XLRと1/4"インプットジャック

接続

各アクティブスタジオモニターには内蔵アンプと電源ケーブルと取扱説明書が付属しています。箱から取り出し、スピーカーをお好みのリスニングポイントに設置して下さい。

接続する前に、電源スイッチがoff状態であることを確認して下さい。

オーディオ入力はバランス (XLR) か1/4"フォンジャックです。電源を入れる前に、電源ケーブルがコンセントにしっかりと差し込まれているか確認して下さい。

入力感度の設定

リアパネルのコントロール部で、ミキサーやその他のソースとマッチングするよう、各スピーカーの入力感度を設定することが出来ます。

この設定の初期値は -6dBです。

トーンコントロールの設定

最適な環境に適合するよう、トーンの調整を必要とする場合があります。アンプのコントロールパネルのトーンコントロールのスイッチによって調整が可能です。

コントロールの初期値はフラットな状態です。お好みのカーブを環境に合わせ設定して下さい。

1. LOW MATCH

ハイパスフィルターです。スイッチの上の数字がクロスオーバー周波数ポイントを示します。サブウーファーと共に使用する際には、サブウーファーとマッチするように周波数を選択できます。

2. ROOM COMPENSATION

ウーファーの位置に対して出力の調整が可能です。壁の近くに置いた場合、低周波数は強くなります。この場合に、高周波数と低周波数間のバランスをとるには、低周波数の出力を-2dBに設定することを推奨しています。角の近くに置く場合は、-4dBに設定することを推奨しています。壁から遠ければ遠いほど、低域のLEVELを増やす必要があります。

3. HIGH MATCH

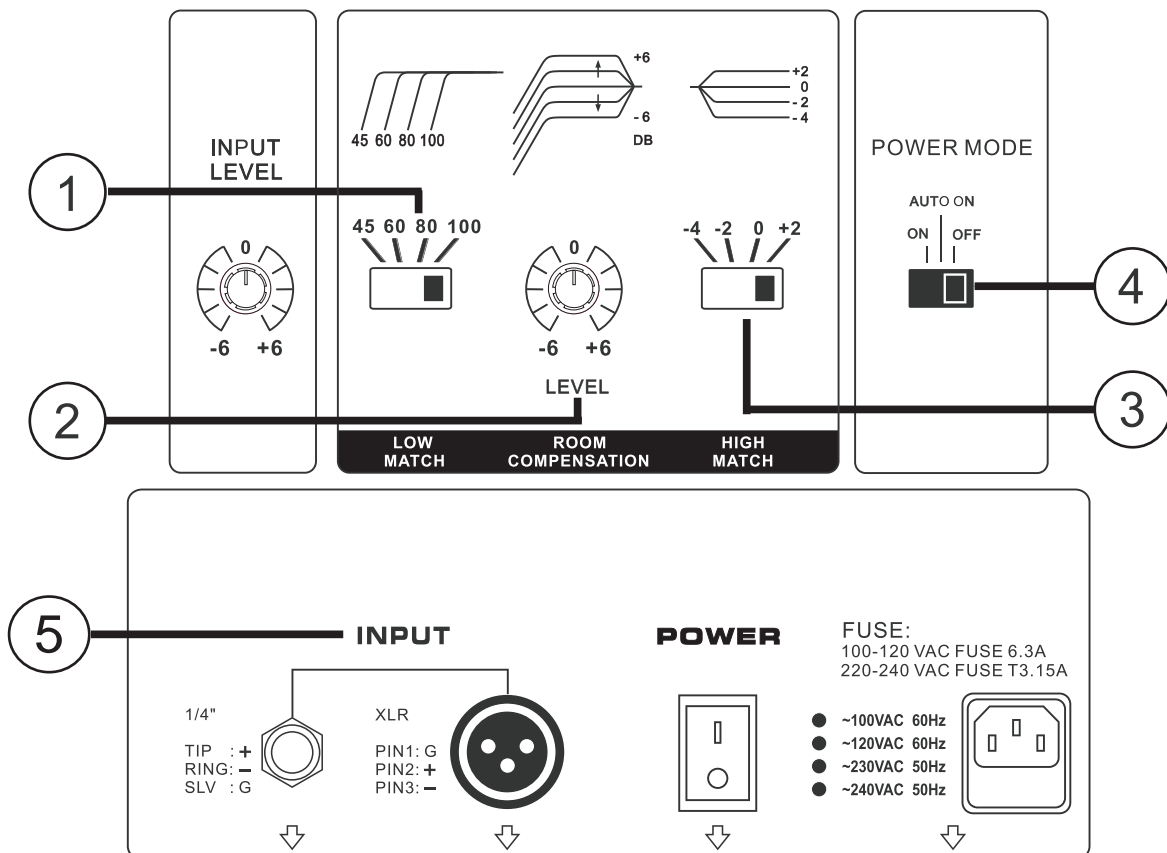
スピーカーの再生周波数を部屋の減衰特性値に適合させるコントロールです。

4. POWER MODE

機器の起動モードを選択するスイッチです。OFFの場合は完全に停止状態となり、電源スイッチをONにしても電源を入れることも出来ません。Auto ONの場合は、信号が入力に届くと自動的に起動します。5分間信号がないと機器は自動的にオフになります。ONの場合は常に起動状態となり、電源をオフにする場合は電源スイッチのみ可能です。

5. INPUT CONNECTORS

バランス対応の1/4"フォンとXLRの入力端子を装備。



モニターの設定方法

縦・横のマウント

アクティブモニターシリーズは近い場所でもモニターリングし易い様に設計されております。

表面が硬い壁などの近くに設置した場合は高周波数が反射してしまいます。また、ミキサーコンソールのコントロール面もサウンドに干渉する場合があります。コントロール面の反射を減らすために、メーターブリッジが裏面のパネルを使ってドライバーから出る音がコントロール面に届かないよう、下記の図を参照してモニターを設置して下さい。

耳とスピーカーの間に邪魔するものがないように設置して下さい。コンソールにメーターブリッジがない場合は、モニターを机より高く設置するか、より遠くに置いてみてください。

アクティブモニターシリーズは横置きでも縦置きでも使用することが出来ます。横置きで設置したい場合は、HFドライバーを外向きにすることを推奨します。

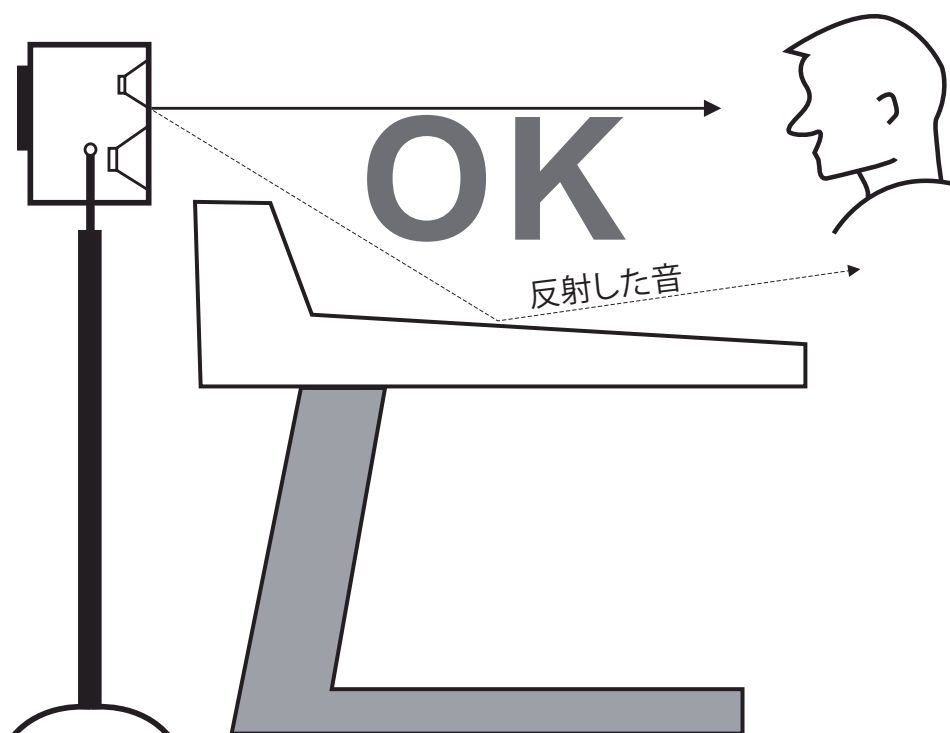
スピーカーを耳に向けて60度の角度で設置すると、リスニングポイントは安定し易くなります。

卓上マウント

アクティブモニターシリーズを卓上で使用する際、卓上に直接マウントするのではなく、SPスタンド等を使って、卓の後ろ側に置いてください。

オーバーロード・インジケータ

ホーンの右下には、2色のインジケータがついています。緑色の場合は、スピーカーが使用可能です。赤色になって点滅する場合は、アンプがオーバーロードの状態か、ドライバー保護回路が有効になっています。どちらの場合も赤いLEDの点滅が停止するまで、入力レベルを減らして下さい。LEDが赤色に点灯する場合は、アンプの熱保護が有効になっています。スピーカー裏面の通気がブロックされていないかを確認してから、アンプがクールダウンするまで使用しないで下さい。スピーカーの裏面と壁の距離は10cmほどの隙間を空けてご使用下さい。



仕様

	P5A	P6A	P8A
アンプ LOW/HIGH (プログラム)	140W / 70W	170W / 70W	212W / 106W
コントロール	Input Trim, High Match, Room Compensation, Low Match, Power On/Auto On/Off		
接続	XLR, 1/4" フォン		
インジケータ	Bi-color On/Peak		
クロスオーバー	1.8dB Hz, 24dB/oct Linkwitz-Riley Filter		
保護回路	Clip Limiter, Power On muting, Thermal and Overload Protection		
大きさ (W x H x D)	195 x 280 x 255 mm	215 x 345 x 295 mm	265 x 425 x 295 mm
重量	5.6 kg	8.2 kg	10kg

PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/